

















給付金キャラクタ-

申請期限: 1月29日(金)まで

対象となる可能性のある人に申請書を送付しています。まだ手続きがお済みでない 場合は、早めに申請してください。期限までに申請がない場合は、申請辞退とみなし ますので注意してください。

「まだ申請していないかな?」「自分も対象になるのかな?」と思ったら役場にお問 い合わせください。

○申請方法 申請書に必要書類を添付のうえ、返信用封筒で郵送するか、役場福祉課

福祉係の窓口に提出してください。

◎受付時間 午前8時30分~午後5時15分(土・円・祝日を除く)

○申請期限 1月29日(金) ※郵送の場合は当日消印有効

◎必要書類 ・本人であることが確認できる書類のコピー※申請する全員分 (健康保険証・免許証など)

- ・振り込み先口座が確認できる通帳などのコピー※申請・受給者の口座
- ・印かん※申請する全員分

●問い合わせ 役場福祉課 福祉係 ☎ 096(293)3510

菊池地域4市町

<mark>わがまち自慢」</mark>プレゼント

応募締切

1月29日(金)必着

■応募方法

住所、氏名、年齢、希望の番号、広報おおづ に対するご意見を記入してご応募ください。

■当選者発表 ■あて先

当選者の発表は當品の発送をもってかえます。 〒869-1292 (住所不要) 大津町役場

菊池地域 4 市町 「わがまち自慢」プレゼント係

①菊池市 四季の里旭志 「大浴場」入浴券(2枚1組)2人

②合志市 物産館弁天 こうしそば・we 米めん セット引換券 (各2食) 2人

③大津町

からいも (5kg) 2人

④菊陽町「さんふれあ」

からいもくん便り

携帯電話やパソコンのメール

登録方法:ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メー ルを送信してください(スマートフォンの場合は 件名に任意の1文字[あ]などを入力して送信)。

・これからも-写真と文章の苦 出会 と思っていれてご紹 大津の 车 よろ いが楽 ŧ ます。

American P

CIR (国際交流員):マシュー・サイバート

HAPPY NEW YEAR!!

新年あけましておめでとうございます

皆さんの、※ Holiday season はどうでしたか。皆さんの Holiday season が、記憶にのこる楽し いものであったら良いなと思っています。

さて、新しいカレンダーの年になりました。アメリカではよくこの時期に、人生をより良く送るに はどうしたら良いか、新年の抱負を考えます。最も良いものは何だろうかと。そこで、私も2016年の 2つの抱負が現実になるように、皆さんにもシェアしたいと思います。



クリスマスコンサートで

1つ目は、通訳無しで、日本語での会話を続けられるようになること。 2つ目は、熊本県から出て2つ以上の県を訪問することと、出来れば世 界のこのパート(アジア)にいる間に、周囲の他の国を訪れてみたいです。

皆さんは、新年に何を新しく試みる予定ですか?よければ、私にも教え てください(教えてもらったときに、出来れば私にも日本語を聞くのに十 分な語学力がありますように)。

昨年が無事に過ぎて良かったです。そして、皆さんが新しい年を幸せに 過ごせますように。

※ Holiday season(アメリカでの11月末の感謝祭から年末・年始にかけ ての休暇シーズンのこと)

JICA ボランティア青年海外協力隊 職種:青少年活動 大塚麻里子

「2年間で感じること」

ウズベキスタンに来て、心に余裕を持てるようになったと感じています。赴任当初は、いろんなこと が時間通り、予定通りに進まずイライラすることも多かったです。10時開始と告げられていた会議は、 待てど暮らせど始まらない。私以外の人は誰も焦っていないようで。卒業式だって予定より1時間半遅 れて開始したこともありました。知り合いとの約束の時間に待たされていて「いつ来ますか?」と聞い ても「ホズィル(今)」と言われてから、30分~1時間待たされることもしばしば。いつしかこの流れ が私に染みつき、怒らなくなっていました。むしろ今では、「お茶でも飲んで、気長に待つか」と思います。 私だけ焦って怒っても仕方がないと理解したのです。怒って待つより、「ま、いっか」と待つ方が気持ち のいい時間が過ごせます。(配属先の日本センターでは学生に、きちんと時間を守るように指導していま

すのでご安心を。もし学生が日本に行くことになったら大変なこ とになりますからね)また、逆に急に呼び出されて、スピーチを 頼まれることも多いです。今では動揺もせず、笑顔でこなせるよ うになりました。今月で3年日を迎えます。毎日、日常の中から いろんなウズベキスタンを感じ、怒ったり悩んだりしながらも、 いつも誰かに助けられ、一緒にのんびりお茶を飲んでおしゃべり して笑い合い、そして感謝し、今日もウズベキスタンがもっと好 きになります。



猫と一緒にお茶を楽しむの人たち

広報おおづ 2016.1